

令和5年度

富山県立大学環境講演会

講演テーマ

今求められる ネイチャーポジティブ社会

人類は6000種以上の植物を食べ、数万種の植物が医薬品に使用されています。このような自然の恵みは、昆虫による授粉、森による水害防止、レクリエーションの提供などがあります。自然の恵みをささえるのが生物多様性です。ところがウナギ、ハマグリなど、世界で4万種以上が絶滅の危機に瀕しています。生物多様性が失われると、食料不足や地球温暖化の加速など人間社会の継続が困難になります。このような危機を食い止めるために昨年、生物多様性条約国際会議COP15が開催され、「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択されました。その内容は、2030年までに生物多様性を減少から回復軌道にのせるネイチャーポジティブや地球上の30%を保全する30by30などの目標が含まれています。この枠組みの成立を受けて、私たちに求められる生物多様性保全の行動についてお話しします。

13 気候変動に
具体的な対策を



15 陸の豊かさも
守ろう



講師

名古屋大学名誉教授
(公益社団法人)大阪自然環境保全協会 会長

夏原 由博 氏

1984年京都大学大学院農学研究科博士課程指導認定退学
1984年大阪市立環境科学研究所研究員、その後大阪府立大学大学院農学研究科助教授、京都大学大学院地球環境学専攻特任教授、名古屋大学大学院環境学研究科教授を経て2021年定年退職

専門は保全生態学、カザフスタン、ナミビア、ケニア、ラオス、マダガスカルで人間活動による生態系への影響を調査。国内では主に水田の生物多様性について研究。現在は市民の立場で自然保護に取り組んでいる。

2023.11.9(木)
13:10-14:40

参加費
無料

Zoom(ウェビナー)によるオンライン講演

お申込み 右のQRコードより申込みください。お申込み後に、確認のメールが届きます。QRコードからの申込みができない場合はチラシ下部に記載のアドレスへご連絡ください。
主催：富山県立大学 後援：(公財)富山県ひとつづくり財団



お申し込み
お問い合わせ

富山県立大学事務局教務課 情報研究係 E-mail tpu-kankyuu@pu-toyama.ac.jp
〒939-0398 射水市黒河5180 TEL 0766-56-7500 FAX 0766-56-6182